

市内4地区で期日前投票所を

問 佐屋地区の期日前投票率が15.63%、これは八開地区の投票率の2.07倍。佐織地区の1.9倍で大きな開きがある。投票所のあり方に問題があるかと考えるが、選挙管理委員会としてどう考えているか。

総務部長 投票率については全体としてみるべきと考えている。そこで開きがあるわけではない。

問 公職選挙法はどうかあったか。

総務部長 人口、地勢、交通等の事情を考慮して、期日前投票所の効果的な設置、選挙人の便宜のため必要な措置を講ずるものとする一文が加えられた。

問 現在一カ所の期日前投票所の拡大をすべきだと考えるが、市の考えはどうか。

総務部長 選挙管理委員会として現状にあくまで固執するものではないが、選挙管理者や立会人の確保、職員の体制・管理執行上の問題点等、ク

リアしなくてはならない事項が数多くある。

市民の戦争体験の記録の保存を

問 8月の平和祈念式の講演では「平和を願って」と題して、勝幡町の大宮久子さんが太平洋戦争の体験を話された。市民の戦争体験の作文や絵を募集して、市として保存し、若い世代に残していく取り組みをしたらどうか。

市長 戦争の悲惨さを次世代に伝え、二度と起こらないような社会をつくっていくということは誰しもが願うことであり、市として、若い世代に対して、そういったことを伝えることを今後も進めていきたい。

その他、佐織庁舎の跡地に公園の設置を要望。

定を行って決定している。

八開塩田交差点改良事業は、26年6月に地元の要望が出され、現場等を確認し、道路改良の必要性、また国・県の補助事業、採択要件に合うかの確認をして判断し、事業化している。北側道路の見通しが悪く交差点も近い。一体的に改良することで、安全でスムーズな通行ができると判断した。

問 愛西版の特区内で防災・防犯も優先順位を定め、まちづくりを進めるべきでは。駅前整備で佐屋・永和、特に佐屋駅は優先課題として話してきたが進捗を尋ねる。

市民協働部長 防災・防犯について、地域の特性を重視した災害対策を心がけるようにしており、本年度の防災訓練は8月28日に目比川決壊から40年となる佐織の勝幡地区を中心に開催した。犯罪は減少傾向にあるが、防犯協会・地元自治会などと、市内での犯罪が起きないように啓発する。防犯力メラについては、犯罪が多く発生する予想があれば、犯罪防止の対策の一つとして検討する必要があると思う。

産業建設部長 佐屋駅については、鉄道事業者側が7月上旬に来庁し、「社内調整中であり時間がほしい」とのことだった。



加藤敏彦 議員



▲平和祈念式